

学校公開で防災学習！

～令和3年度渡瀬地区防災訓練と合同で実施～

10月23日（土）の学校公開において渡瀬地区防災訓練と合同で、防災学習を行いました。

地域の方、児童・保護者の皆さん総勢400人以上が参加し、地震体験や煙道体験など様々な活動をしました。コミュニティ・スクール～地域とともにある学校～として地域と学校が合同で防災訓練を行いました。渡瀬地区自主防災訓練実行委員の方々、消防署員の方々、市安全安心課職員の方々をはじめたくさんの方々にお世話になりました。

地震体験



最大震度7まで選んで、揺れを体験しました。



お尻が浮くくらいの揺れで、これが突然来たら大変だと感じた子もいました。

消火訓練



消防士の方に使い方を教わり、消火器の中に入った水を的に向けてふきかけました。勢いよく的に当たると、上手に倒れました。



煙道体験



火事の時、新鮮な空気は下の方、隅の方にしかないのだそうです。



煙が充満した「煙体験ハウス」は、一歩入ると、前が全然見えませんでした。

避難所開設訓練



段ボールベッドは、材料は段ボールでも、とても強度が高く、2人で寝てもつぶれません。



みんなで作ると、あっという間に段ボールベッドが完成しました。

防災倉庫見学

防災倉庫に入っているものは、いざというときに必要で、便利なものばかりでした。



避難所に設置されるトイレは、工夫がたくさんされていることを知りました。



緊急車両見学



救急車の中を見学しました。いろんな機械や道具があり、子ども達も興味津々でした。



低学年は、消防車にも乗せてもらいました。大きくて、カッコいい！と人気でした。

防災ワークショップ



「こんな時、どうする？」と、いくつかの場面でどう行動するべきかを意見交換しました。自分の命を守るための行動を、活発に話し合いました。



どんなときに、どこに避難し、どんな物が必要になるのかを、市安全安心課の方からお話していただきました。防災グッズの備えの必要性を感じました。

引き渡し訓練



大災害が起きた場合を想定して、保護者の方へ児童を引き渡す訓練を行いました。名簿を確認しながら、スムーズに行うことができました。



冷静に、確実に、保護者の方に引き渡せるように、今後も訓練を行っていきます。ご協力ありがとうございました。